

指定管理者による公の施設の管理運営状況

令和 6（2024）年度

施設名	栃木県日光だいや川公園
施設所管課	県土整備部都市整備課
指定管理者	（法人番号 ）日光だいや川公園管理運営グループ 株式会社清水造園 （法人番号 3060001002202） 株式会社景観プランニング （法人番号 3060001001542） 株式会社狐塚造園 （法人番号 8060001008970）
指定期間	令和 6（2024）年 4 月 1 日～令和 1 1（2029）年 3 月 3 1 日

1 施設の概要

施設所在地	日光市瀬川844
施設の概要	①指定管理者による管理面積 55.8ha ②主な施設 フィールドアスレチック、パークゴルフ場、グラウンド・ゴルフ場、ディスクゴルフ場、オートキャンプ場、やすらぎの池、そよ風広場、とんぼ池、ふるさとの森、チョウの丘、ちびっこ広場、緑の相談所、だいや体験館 等
業務内容	①公園の維持管理に関する業務 ②有料公園施設の利用の許可に関する業務 ③公園の運営に関する業務

2 収支の状況

令和 6（2024）年度

（千円）

収入			支出		
指 定 管 理 ※2	指定管理料	116,000	指 定 管 理 ※2	事業費	14,354
	利用料金収入	41,545		管理運営費	73,144
	その他収入※1	3,889		人件費	65,181
				その他支出※1	8,478
	合計	161,434		合計	161,157
指定管理業務収支差額①					
自主事業			自主事業		
自主事業収支差額②					
収支差額（①+②）					
備考（※1 その他収入の主なものを記載） エネルギー価格高騰対策支援金 3,085千円			備考（※1 その他支出の主なものを記載） 租税公課 8,478千円		

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

令和 5（2023）年度（前年度）

（千円）

収入			支出		
指 定 管 理 ※2	指定管理料	113,494	指 定 管 理 ※2	事業費	15,255
	利用料金収入	47,630		管理運営費	52,211
	その他収入※1	2,300		人件費	108,461
				その他支出※1	3,599
	合計	163,424		合計	179,526
指定管理業務収支差額①					
自主事業			自主事業		
自主事業収支差額②					
収支差額（①+②）					
備考（※1 その他収入の主なものを記載） エネルギー価格高騰対策支援金 2,300千円			備考（※1 その他支出の主なものを記載）		

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

3 利用状況

施設名	項目	令和5（2023）年度 （前年度）	令和6（2024）年度
日光だいや川公園	公園利用者数	381,514人	399,657人
	フィールドアスレチック	20,497人	26,168人
	パークゴルフ	7,250人	7,223人
	グラウンド・ゴルフ	619人	420人
	ディスクゴルフ	1,138人	1,064人
	共通一日券	765人	306人
	オートキャンプ場	19,614人	18,124人
緑の相談所	相談件数	17件	26件
	催し物回数（延べ人数）	22回（3,243人）	25回（3,221人）
	講習会回数（延べ人数）	19回（193人）	19回（200人）
体験館	講習会回数（延べ人数）	49回（804人）	56回（874人）

4 サービス向上に向けた取組

<p>(1) 施設運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑地管理は利活用する部分と自然保護する部分を区分し、環境保全に努めた。園内の花壇やチョウの丘には季節の草花を植栽するとともに園内で観察できる山野草の保護にも取り組んだ。 ・複数のスタッフや巡視員が、毎日の点検や改修、修繕を実施し利用者の安全確保に努めた。アスレチック・ニュースポーツ施設をはじめ子供たちが利用する大型遊具等についても、毎日点検を実施し安全確保を図った。 ・幼児から親御さんまで安全に楽しく遊べる施設として、バッテリーカー施設を設置した。 ・アスレチック施設では、付添い等で利用する場合は無料とし利用促進とプレイヤーの安全安心を確保することに努めた。 ・園内にある枯損木を伐採し利用者の安全確保を図った。 ・ナラ枯れ木対策として、対象木の伐採と燻蒸処理を適切に実施した。 <p>(2) 地域活性化・地域貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模の開催となったが、日光手打ちそばの会と協力して夏と秋にそばまつりを開催した。 ・日光花火大会において、駐車場、観覧場所、放送設備の使用等に協力した。 ・日光商工会議所等のイベント会場として、利用していただき地域活性化を図った。 ・日光ブランド情報発信センターと連携し、地場産業のPRにと取り組むとともに、物品の購入は地元企業を優先した。 ・主に地元食材を使った食事等を提供する軽食堂、地域特産品を販売する売店を運営した。 <p>(3) イベント事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜まつり、ホテル観賞会、ヤマユリまつり、そばまつり、歴史を学ぶ講座等を開催した。 ・地場伝統野菜（野口菜）栽培と保護に取り組んだ。 ・季節ごとに自然観察会や野鳥観察会を開催した。 ・フリーマーケットやキッチンカーが出店するだいや日曜市を開催した。 ・緑の相談所では植物に関する体験講座、体験館では農業体験と収穫体験を開催した。 ・近隣の幼稚園や保育園向けに、サツマイモ、ジャガイモ等の収穫体験を無料で実施した。また、収穫したサツマイモやジャガイモ等を地元で活動している子ども食堂に無償で提供した。 <p>(4) 広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、Instagram、広報にっこうを中心に施設案内やイベント情報・展示会・体験講座等の情報提供を行い公園の利用促進を図った。 ・『だいやのたより』を作成し、日光市や関係機関に配布し公園の利用促進を図った。 <p>(5) 利用者へのサービス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オートキャンプ場にキャッシュレス決済を導入した。 ・オートキャンプ場でアーリーチェックイン、レイトチェックアウトを導入した。 ・レンタル自転車を運営した。 ・様々な利用者に安心してご利用いただくため、車いす、授乳室等を完備した。 ・公園利用者のサービス向上のための、軽飲食店「だいや食堂」を営業した。 <p>(6) 多様な主体との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日光市、商工会議所、いっしょにロコモーション協議会等と連携し、公園の利用促進を図った。
--

5 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法				
管理事務所、無料休憩所、体験館、オートキャンプ場にご意見箱を常設し、ご意見表を回収 回収件数 55件				
主なご意見票の項目	良い	良い方	あまり良くない	悪い
公園内はきれいでしたか	74.2%	22.6%	3.2%	0.0%
公園の管理状況はいかがでしたか	72.1%	26.2%	1.6%	0.0%
花壇や樹木などの植物の管理状態は いかがでしたか	67.2%	32.8%	0.0%	0.0%
スタッフの対応はいかがでしたか	73.8%	24.6%	0.0%	0.0%

主な利用者意見（苦情・要望）	対 応
・ 扇風機を置いて下さい。	無料休憩所の整理整頓を行い扇風機の設置 を検討します。
・ 植物がありますが、名札をもっと付けてくれるとあり がたいです。	

主な利用者意見（積極的評価）
・ 子供達がいって、とても楽しそうで、私達まで楽しませていただきました。又、遊びに来たいと思 いました。ありがとうございました。買い物も沢山買って帰ります。
・ そば祭りで毎年来ますが、模型の見学は初めてでした。大変参考になりました。知人、友人にも宣 伝します。

6 指定管理者による自己評価

成果のあった取組・積極的に取り組んだ事項・利用者満足度向上への取組
<ul style="list-style-type: none"> ・ キャンプ場にキャッシュレス決済とポイントサービス制度を導入し利用促進を図った。 ・ バッテリーカーの設置、だいや食堂の運営を行い、サービス向上と公園の利用促進を図った。 ・ 遊具やアスレチック施設で経年劣化した部材を補修し、利用者の安全確保を図った。 ・ ニュースポーツコース内の一部ネットを改修し、利用者の安全確保を図った。 ・ 園内の枯損木を伐採、ナラ枯れ木の対応を実施し、利用者の安全確保を図った。 ・ 園路やインターロッキングブロックの凹等の補修を実施し、利用者の安全確保を図った。 ・ 各種イベント、講習会、展示会、体験活動、観察会等を開催し、緑化推進と利用促進を図った。 ・ 日光市、市内の各種団体と連携し、地域振興に協力した。
※指定管理者が独自に設定
<p>管理運営体制：概ね計画通りに実施出来た。</p> <p>施設・設備の維持管理：各種点検、緑地管理、施設の改修等計画通りに実施出来た。</p> <p>運営業務の実績：自然環境保全、地域貢献と連携、情報発信等概ね計画通りに実施出来た。</p> <p>自主事業の実施：オートキャンプ場の施策、だいや食堂の運営、バッテリーカー事業等を実施した。</p> <p>サービスの向上と苦情等の把握と対応：アンケートを実施し改善に努めた。サービス向上も図った。</p> <p>安全、防災管理：緊急連絡網の整備と周知、AEDの設置、施設の改修等を実施した。</p> <p>県民の平等利用と個人情報保護：県と連絡を密に行い平等利用を図り、個人情報の保護も行った。</p> <p>イベントの開催：一部開催できなかったが、各種イベントを開催し利用促進を図った。</p> <p>利用実績：目標値を達成できた。</p> <p>★全体として、良好な管理運営が出来た。★</p>

今後改善・工夫したい事項
<p>県民を初め、多くのお客様に日光だいや川公園を利用していただく努力を継続実施します。</p> <p>講習会・体験会・展示会・各種イベント・観察会等の開催や地域振興への協力を行います。</p> <p>緑地管理・施設管理・植物管理を充実させ安全・安心の確保を図り、公園の利用促進に努めます。</p> <p>また、新たな都市公園の魅力創出にも取り組みます。</p> <p>オートキャンプ場については、キャンパーの高齢化・人口減少等利用対象者が漸減・遊びの多様化等で利用者が減少傾向ですが、リピータの確保を図るため、施設の改修・レンタル品の充実・売店の充実・ポイント制度の充実等、各種施策を実施します。</p>

7 所管課室による評価

項目	評価の内容	確認内容・所見等	評価
1. 住民の 平等利用の 確保	① 住民の平等利用が確保されたか。	適切に実施されている。	B
	② 使用許可に関する権限が適正に行使されたか。	所定の手続きに則り、適切な許可が行われている。	B
	③ 高齢者、障害者等に対する配慮はなされたか。また、平等利用が確保できない場合の対応は適切か。	高齢者や身障者に対し配慮するなど事業計画書どおりされている。	B
2. 施設の 効用の最大 限発揮	① 施設の設置目的に沿った業務実施がなされたか。	事業計画に基づき、施設の設置目的に沿った業務が実施されている。	B
	② 施設の利用促進、県民サービスの向上が図られたか。	キャッシュレス決済を導入するなど、利便性の向上に努めた。	B
	③ 利用者満足度を把握し、満足度の向上が図られたか。	利用者の満足度は昨年並みだった。	B
	④ 利用者からの意見、苦情に対して適切な対応がなされたか。	要望・苦情に対して、適切且つ迅速に組み対応している。	B
	⑤ 施設、設備、備品の維持管理や安全管理は適切になされたか。	日常・定期点検を実施し、その記録が保管されているとともに、管理打合せ簿にて修繕の提案・修繕実施報告され、その修繕履歴が適切に保管されている。また、備品の管理は適切に実施されている。	B
	⑥ 指定管理者の創意工夫により業務改善等がなされたか。	施設設備の不良箇所は迅速に補修するなど、安全に利用できるように努めた。	B
3. 管理を 安定的に行 う物的人的 基礎	① 組織体制は適正か。	当該業務を概ね適切に遂行できる組織となっている。	B
	② 収支は適正でバランスがとれたものか。	概ね適正である。	B
	③ 経費の縮減に取り組まれてきたか。	事業計画書どおり多目的、多用途に従事するスタッフを配置し人件費を削減するとともに、グループ各社の専門性を活かして対応する事により外注費を削減する等コスト削減に努めている。	B
	④ 人材育成は適切に実施されているか。	公園管理に必要な資格の取得や技術と能力を向上するため、事業計画書に基づいた研修を実施した。	B
	⑤ 危機管理体制（事故、緊急時の対応）は確保されているか。	緊急時連絡体制により、関係部署との連絡体制は確保できている。また、事故・異常気象時の対応も適切に対応・報告が	B

		なされていた。	
	⑥ 県や関係機関との連携体制は確保されているか。	県や関係機関と連携し、管理運営を行っている。	B
4. 個人情報保護	① 個人情報の保護についての措置が計画どおり実施されているか。	個人情報の保護に関する要領を定め、適切に保護を行っている。	B
	② 情報公開は適切になされているか。	情報公開事務処理要領を定め、適切に運用している。	B
5. その他	① 施設の特性にふさわしい自己評価がなされているか。	適切な自己評価が行われた。	B
	② 自主事業が計画どおりに実施されているか。	自主事業について、一部実施されなかったものがあつた。	C
	③ イベント等を実施している場合は、地域との連携が図られているか。	日光花火大会の観覧場所となるほか、地域団体と連携し催し物を実施するなど、地域連携を図った。	B
	④ 環境への配慮（騒音・光害対策、ごみ削減等）がなされているか。	省エネルギーへの取組みとして、キャンプ場管理棟や野外ライトなどの蛍光灯をLEDに順次取り替えている。	B
	⑤ その他管理運営上の特記事項	新型コロナウイルス感染症対策を図り安全な管理運営を実現した	B
総合的な評価			
<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度の利用者数は前年度から約18千人増の約400千人となった。 指定管理の初年度となったが、公園施設の維持修繕等、適切な管理運営を行っていることに加え、地元日光市の団体と様々なイベントを実施する等、地域活性にも貢献している。 引き続き様々な取組を推進し、公園の魅力アップを図られたい。 			

※「評価」欄には、以下の指標により判定した結果を記載すること。

- A：事業計画に対して優れた取組となっている。
- B：事業計画どおりの取組となっている。
- C：事業計画に対して劣る取組となっている。
- D：事業計画に対して著しく劣る取組となっている。